

六甲アイランドの住民に食料を補給する

積水ハウス(株)六甲開発事業部
コープこうべコープ六甲アイランド

1 活動を始めた経過

地震発生後、東灘と六甲アイランドのアクセスルートである六甲大橋並びに六甲ライナーが不通となり六甲アイランドは陸の孤島となったため、島内の住民は水どころか食料の確保さえも困難な状況となっていた。

そうした状況下で積水ハウス(株)六甲開発事業部の責任者は、六甲アイランドCITY自治会の会長に対して何らかの協力ができる旨を申し出た。何ができるか社内で協議の結果、現状を踏まえて島内の住民に対して食料の確保、補給を行うこととした。

2 活動の内容

積水ハウス(株)六甲開発事業部では震災当日に食料の調達のため大阪本社に連絡し、とりあえず住民用の食料を確保した、その確保した食料を、大阪市より海上アクセスを利用し六甲アイランドまで緊急輸送した。同事業部は大阪本社で確保した「おにぎり15万個」を六甲アイランドCITYの住民に支給した。なお、住民に支給した後、まだ余裕があったので食料が不足している他の避難所にも分配するように六甲アイランドCITY自治会を通じて東灘区役所に連絡した。

コープこうべのコープ六甲アイランド(店舗)においても、店長の判断により、当面の食料として、おにぎり、ビスケット等を六甲アイランドの各街区の住民の比率に応じて支給した。

3 活動した期間

開始 平成7年1月17日 (火)

終了 平成7年1月24日 (火)

4 活動上の苦労

新交通等の交通アクセスの復旧が困難なため、食料などの補給が円滑にできなかった。